



芸南トピックス



食農教育活動報告



▲農家さんから収穫について学びました



▲大きく育ったキャベツの収穫

3月24日、東広島市立三津小学校3・4年生33名が、昨年10月24日に植え付けたキャベツの収穫を行いました。根がよく張った大きなキャベツの収穫は大変でした。



自然に恵まれ「人と人の豊かな生活」がそこにある JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



八十八夜も過ぎて、緑が美しく、清々しい季節となりましたね。ふれあい市には、新鮮な色とりどりの野菜や果物が並びます。お気軽にお立ち寄りください。



びわ 5月末~



うめ



そらまめ



ミニトマト



じゃがいも

など店頭にも並びます

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。



水稲 5月

水田除草剤と 箱苗処理について

水田除草剤および箱苗処理剤の使用は、下記を参考にしてください。

〔除草剤使用のポイント〕

- ・ 使用後3〜4日間は3〜5cmの深水を保ち、かけ流しはしないでください。
- ・ 水田の土が露出すると除草効果がなくなるため、均一になるように代かきを行ってください。

〔箱苗処理剤のポイント〕

- ・ 使用量に合わせて準備してください。

野菜 5月

馬鈴しよの 病害虫防除について

開花の初期から後期にかけて、害虫の発生が多くみられる時期です。継続した防除の徹底を行いましょ。

〔防除例〕

アブラムシ（殺虫） + 疫病（殺菌）

例①

殺菌：モメントフロアブル

4,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

殺菌：ランマンフロアブル

1,000倍液

（収穫7日前まで、使用回数4回以内）

（1箱あたり50g）
・ 育苗箱の苗に均一に散布し、茎葉に付着した薬剤は払い落したのち、軽くかん水してから田植え機等で移植しましょ。

水稲問 安浦店
TEL 0823-842049
担当 桑原 伸明

水田除草剤

	使用時期（参考）	薬剤名（主な特長）	使用量（10a）
通常雑草 （田植え前・後）	①田植え前 7日～田植え時	ピラクロンフロアブル（初期除草）	500ml
		クリアホープフロアブル（初期除草）	
	②田植え後 5～25日	カイリキZ1キロ粒剤（ノビエ3葉迄）	1kg
		天空1キロ粒剤（ノビエ3葉迄）	
		カイリキZフロアブル（ノビエ3葉迄）	500ml
		天空フロアブル（ノビエ3葉迄）	
藻類が 多発する場合 （田植え前・後）	①田植え前 7日～田植え時	クリアホープフロアブル（初期除草）	500ml
		先陣ジャンボ（ノビエ2.5葉迄）	10個（200g）
	②田植え後 5～25日	セイテン1キロ粒剤（ノビエ2.5葉迄）	1kg
		セイテンジャンボ（ノビエ2.5葉迄）	10個（250g）

箱苗処理剤（病害虫）

使用時期	薬剤名	主な特長
定植前処理	フルスロツトル箱粒剤	（病気） 紋枯病・いもち病・白葉枯病・ごま葉枯病・もみ枯細菌病 （害虫） ウンカ類・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ツマグロヨコバイ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ・イネツトムシ・コブノメイガ
	防人（さきもり）箱粒剤	（病気） いもち病・白葉枯病・ごま葉枯病・もみ枯細菌病 （害虫） ウンカ類・イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ・ツマグロヨコバイ・ニカメイチュウ・フタオビコヤガ・イネツトムシ・コブノメイガ

例②

殺虫：テスルター水和剤

1,000倍液
〔収穫3日前まで、使用回数4回以内〕

殺菌：フオリオゴールド

1,000倍液
〔収穫7日前まで、使用回数3回以内〕

ヨトウムシ（殺虫）

例

殺虫：ベネビアOD 4,000倍液

〔収穫7日前まで、使用回数3回以内〕

殺虫：デアナSSC 3,000倍液

〔収穫前日まで、使用回数2回以内〕

アブラムシ（殺虫） + 疫病（殺菌）

例

殺虫：オリオン水和剤40（劇）

1,000倍液
〔収穫前日まで、使用回数5回以内〕

殺菌：ベトファイター顆粒水和剤

2,000倍液
〔収穫7日前まで、使用回数4回以内〕

野菜類の定植について

キュウリ、ナス、トマト等、代表的な野菜類の植え付け時期になりました。

苗の流通は4月からありますが、5月上旬はまだ夜温の低い日もあり、病気がかかりやすいことがあり、5月中旬以降が植え付けに最適な時期となります。早めに行った苗はすぐに定植せず、鉢上げなどして、大苗になってから植えるのも一つの手段です。

害虫対策としては、モスピラン粒剤、ジェイエース粒剤、ベストガード粒剤、ダントツ粒剤などで、定植時に植え穴に処理し土壌混和すると予防効果が高いです。害虫が耐性をもつことがあるので、毎回同じ粒剤は使わず、交互に使用するなどしましょう。

〈生産工程管理日誌は必ず提出しましょう〉

生産工程管理日誌は次期の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜

営農経済課

TEL 084614513360

担当 久保勝義

果樹

6月

かんきつ

今年の温州みかんは、全体的に着花量が少なく、一つの果実でも大切にしましょう。芽かきや高品質果実生産に向けた基本管理を徹底しましょう。特に施肥・中晩柑類の摘果は今年度だけでなく次年度にも影響するので、適期にしっかりと対策を行いましょ。

●夏肥の施用

夏肥の施用適期は5月下旬です。みかん・中晩柑類ともに未施用の園地では早急に施用しましょう。

●間伐・下枝除去の徹底

5月に引き続き間伐と、主幹から出た不要な下枝を切り落しましょう。園内環境が改善され防除や摘果作業が楽になり、病害虫の発生も少なくなります。

●芽かき

着花量が少なく新梢発生が多い樹は、養分競合による生理落果を防ぐため、また日陰になるのを防ぐため（隔年結果防止）、1カ所から複数芽が出ている場合は1〜2本に整理しましょう。



●病害虫防除の徹底

6月中下旬は、黒点病・ミカンハダニ・カイガラムシ類の最重要防除時期です。時期を逃さないよう適期に防除しましょう。

使用薬剤は、ペンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤600倍液、クミアイアタックオイル150倍液、トランスフォームフロアブル2,000倍液です。

前記薬剤に元氣一番1,000倍液も混用し、樹勢を維持しましょう。

※近年、みかんの樹を枯らす害虫のミカンナガタムシの発生が多発しています。対策としてアクセルフロアブル2,000倍液を必ず混用しましょう。

●マルチの被覆

糖度の高い果実生産を行うためには、十分な着果量と土壌水分のコントロールが必要です。6月から準備を行い、土壌水分がある状態で美味シート等のマルチ資材を被覆しましょう。

●中晩柑類の摘果

中晩柑類の大玉生産には、夏肥の施用と早めの摘果が重要です。価格の良い大玉果実を生産するため、6月下旬に摘果を徹底して行いましょう。

びわ

●収穫について

高温時に収穫すると日持性が悪くなり腐敗に繋がるため、早朝等の涼しい時間帯に収穫しましょう。

いちじく

●摘心作業について

収穫を早めるため（枝の伸長を抑え果実に養分を回す）、展葉11枚で摘心（新梢の先端を摘み取る）をしましょう。また摘心後に出た副梢は先端の芽だけを残し（その後、展葉2〜3枚で摘心）、それ以外は着色不良及び小玉果の要因となるため、根元からかぎとります。

●追肥

果実肥大が悪い場合、6月下旬に硫酸加里を施用しましょう。（20kg/10a）

●かん水

晴天が5〜7日間続く場合は、かん水を行いましょ。

農業使用の注意点

・使用者自身の安全のため、農業の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
 ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農業の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
 ・作物の残留農薬が問題となっておりませんが、農業の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。



果樹問 安芸津アグリセンター
 担当 JA広島果実連株 鎌田 悠誠
 TEL 0846-4510488
 駐在技術員

2026年5月 苗販売情報



128穴セルトレイ



(商品例) キャベツ苗

JA 安芸津アグリセンターでは、直売所など JA 出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行っています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂ぎぜひご利用ください。

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	初秋	5月中旬～	7月中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
 ※特注品についても相談の上、対応致します。